

有難う

— 高橋英雄 詩集 —

第九号

愛は祈り

令和3年4月14日

一度愛の封を切ったら
愛は滞ることなくあふれ出(い)で
相手に流れてゆく
好きになった人を光で包んでゆく
たとえ相手が受けとめなくなっても
愛はあふれてゆく。
相手の “天命が完うされますように”
という祈りになって流れてゆく。
“有難うございます” という感謝になって
流れてゆく。
愛は祈り
祈りは感謝の光
愛すること 祈ること
私が光を頂いている

有難うございます

世界平和の祈りよ 有難う
救世の大光明 五井先生有難うございます
世界人類が平和でありますように と
一言発すると
神々 仏如来諸菩薩の大結集した
救世の大光明は光り輝き
私の肉体を仿きの場
器(うつわ)として使い給う
過去世から現在にいたる人生の中で
最高の仿きをさせて下さる。
それも今の今 させて下さる。
こんなに有難いことはない。
こんなに素晴らしいことはない。
肉体がどういふ状態にあっても

年齢がいくつであつても

男であろうと女であろうと

その差別も区別もなく皆平等に

最も価値ある存在として神々は使い給う。

こんなに畏れ多いことはない。

こんなに有難いことはない。

“世界人類が平和でありますように”

私は無心になって祈る。

感謝のところで祈る。

いのちを捧げ想いを捧げて只々祈る。

世界平和の祈りよ 有難う

五井先生 有難うございます



頂き直した命

令和3年4月24日

昭和31年5月 五井先生にお委せて
三つの結核から復活した。
二十五才だった。
平成29年11月 胸腹部大動脈瘤が破裂した。
奇跡的によりみがえった。
八十五才だった。

その間何回か命を頂き直し

現在私は生きている。

いや私が生きているのではない。

頂き直した命に生かされている。

神さまが生きている。

なんと尊い命か！

なんと有難い命か！

神さまが生かして下さるこの肉体の

なんと尊いことか！

なんと有難い肉体か！

大事な大事な神の器

大事な大事な神の働き場

頂き直した命の存在の

なんと尊いことか

神の分霊である私



魄銀行

令和3年4月30日

世界平和の祈りの祈り漬(づけ)になった

祈り人の魄要素は魄銀行にあずけられ

五井先生によって人類光明化に使われる。

これから生まれてくる子孫の肉体に投資される

子孫の肉体は輝ける魄要素で構成され

聖者となつて世界平和の為に働く事だろう

祈り人の肉体は消え失せても

魄要素は消えない。

私たちは祈るたび

魄要素を魄銀行に預金し

地球の輝ける未来のために投資している

本心そのものである私
ただく神様有難うございます
天命が完うされますようにと
祈る毎日である。

輝ける魄要素を残した

令和3年5月1日

虎は死して皮を残す。

神人祈り人は死して輝ける魄要素を残す。

救世の大光明が刻みこまれた魄要素は

天の倉の魄要素銀行に預金され

新しく生れ出る子孫の肉体の

魄要素に組みこまれる。

子孫は輝ける魄要素を持った

生まれながらにして聖者である。

地球の未来を輝かす神人である。

たとえあなたが何事もしなかったとしても

あなたは世界平和の祈り漬(づけ)けになった

輝ける魄要素を残した。

これはほめたたえるべき大偉業である。

氣つき

私には世界平和の祈りがあります

私には五井先生の称名があります

私には神聖復活の印があります

ただ生きているではありません

ただ存在しているではありません

生きていること

存在していることがそのまま

神さまの働きになり

人類の平和の為になり

天命の完うの偉業になっています

世界平和の祈りのおかげです

五井先生のおかげです

印のおかげです

この世の中には生きているだけの人が
なんと多いことでしょう

私たちは存在している意義

存在している目的がハッキリしていて

意義目的を達成しつつあります

そういう尊い人生

そういう価値ある人生を送らせてもらっている

私は九十になる老人です。

神さまのものは神さまに返えす

いのちは自分のものであつて

自分のいのちではない。

神さまから頂いたもの。

神さまから頂いたものは

神さまに返えそう。

神さまにおわたししよう。

想いは自分のものであつて

自分の想いではない。

神さまのエネルギーから生まれたもの。

神さまが生み出した想いは

神さまにみな返えそう。

神さまにみな返えししよう。

今迄業想念といつていたけれど

業から生まれた想いなんてない。

その源はみな神さまのエネルギーだ。

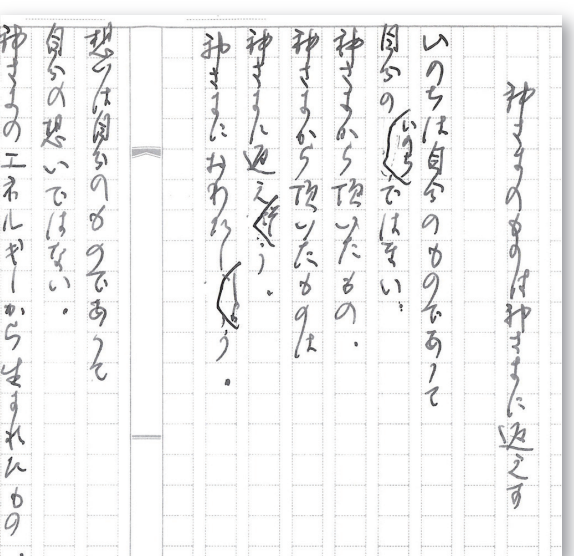
神さまのものは神さまに返えそう。

肉体人間のものなど一つもない。

自分のものなど一つもない。

みな神さまのものだ。

それを自分のものだと想い違いしていた。



天のみを相手とせよ

人の好し悪しは
棺をおおつてもわからない。
長い歴史をへてもわからない。
人々の批判 世間の評判は当てはまらない。
自分の正しさと神聖を信じて
自分のいのちを守って
いのちを生ききろう。
神仏に全託したその生涯の価値は
神のみぞ知る。
人を相手にするな。
世間を相手にするな。
人も世間も流れる水の如く
瞬々刻々変つてゆく。
変らざる天のみを相手とせよ。
神のみを相手とせよ。

祈り

一升ますには一升のお酒
一斗樽には一斗のお酒
一杯のカップには一杯の酒
器は決まっています

令和3年5月7日

それ以上の量は入らない。

自分には器量の大小はわからない。

守護霊守護神 五井先生におまかせして

私は世界平和の祈りを祈る。

五井先生を唱名する。

祈れば救世の大光明が輝き

唱名すれば五井先生の光明があふれる。

ひたすらに人類の平和と地球の大調和を祈って

人類の悲しみが喜びに変わり

人類の苦しみが安らぎに変わることを願う。

感情が無になるのではない。

人の痛みが痛みと鋭敏に感じられなければ

人の苦痛 悲しみは消えない。

業^{ごうく}苦の十字架を光明の十字架にかえる為に

どうぞお使い下さい！

み心のためになさしめ給え！ と祈る。

我生きるにあらず 神内(うち)にありて生き給う。

神生き給えばすべてよしすべてよし

五井先生に感謝し守護の神霊に感謝し

世界人類が平和でありますように！

神の器として十全の働きが出来ますように！

と只只祈る。

使い給うは救世の大光明 五井先生

救世の大光明 五井先生の大愛にゆだね奉る



第九号 編集後記

先日とてもステキな話をお聞きしました。
白光会員でないその方は、以前、高橋さんの講話
会に参加して、お手紙を送ったところ返事を頂い
たそうです。了承を得て一部載せさせて頂きます。
「ようこそ私の中から出た五井先生の教えを受
けとめて下さいました。会員であろうとなかろ
うとそんなことは道には関係ありません。道と
は真理をたった一つでも行ずることです。」
一途に五井先生を慕い、真摯に道を行じられた高
橋さんの深く温かいお心が偲ばれます。
懐かしさで胸が詰まりました。

令和六年二月吉日 O・K

編集発行 白光真宏会 大阪支部

住所 〒55010002

大阪市西区江戸堀2-7-32
ネオアージュ土佐堀303号

TEL 061644418620

FAX 061644418620